®

区分RL2 型式検定合格番号 第TM304号（型式の名称：DR73U2-w）

取替え式防じんマスク TMK-73U2T取扱説明書

2008年10月現在

本品をお買い上げ頂き、ありがとうございました。使用前に必ずこの説明書をよく読み、内容を十分ご理解のうえ、正しくご使用下さい。
この説明書は、いつでも読めるように大切に保管して下さい。もし、紛失された場合は、販売店へお申し出下さい。

■警告表示の定義

本文中に記載されている「危険」「警告」「注意」の表示は、誤った取扱いによる事故を未然に防ぐための重要な内容を示していますので、熟読し安全にお使い下さい。各表示の意味は次のとおりです。

⚠危　険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、又は健康上重大な危害を被る可能性が極めて高いことを示します。
⚠警　告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、又は健康上重大な危害を被る可能性があることを示します。
⚠注　意	取扱いを誤った場合、使用者が健康を害するか、又は物的損害が生じる可能性があることを示します。

■使用上の注意事項

本品を安全にお使いいただくために、下記の注意事項をお守り下さい。誤った取扱いをされた場合、着用者の生命が危険な状態にさらされることがあります。

⚠危　険	1. 次の条件下では、死亡、又は健康上重大な危害を被ることがありますので絶対に使用しないで下さい。 ・酸素濃度が不明又は18%未満の環境。 ・汚染物質が不明な環境。 ・有毒ガスが存在する環境。 ・汚染物質が生命・健康に直ちに危険な環境。 2. 本品の用途及び使用の範囲に示す使用区分以外では、絶対に使用しないで下さい。 3. 初めて本品を使用される方は、必ず作業責任者の指導を受けて下さい。
⚠警　告	1. ホルダーや弁座等の部品が外れたり破損する恐れがありますので、マスクを折り曲げたり、変形させたり、過度な力を加えることはしないで下さい。 2. 分解・改造を行わないで下さい。 3. 純正部品以外は使用しないで下さい。 4. 次の事項に該当する方は、本品の着用をしないで下さい。 ・面体と顔面との接顔部に入り込むようなひげがある場合。 ・排気弁の作動を妨害する口ひげ又はあごひげがある場合。 ・呼吸器又は循環器系に疾患がある場合。 ・体調が不調な場合。 ・その他産業医が不適当と認めた場合。 5. 使用前点検を必ず実施して下さい。 6. 面体と顔面との間には、タオル等の気密を妨げるものを使用しないで下さい。 7.「密着性の良否の検査」を行い面体と顔面との密着性が良好であることが確認できない場合は、使用しないで下さい。 8. 使用中に次のことが生じた場合は、直ちに作業を中止し、安全な場所でマスクを外して下さい。 ・吸気抵抗が増加し、息苦しくなった場合。 ・粉じんの漏れ込みを感じた場合。 ・部品が破損した場合。 ・体調に不調を感じた場合。 9. 溶接作業時等、マスクの吸気口にスパッタが飛び込むと、ろ過材が燃える恐れがあります。 溶接作業を行う際は、スパッタ防止具（別売）を併用して下さい。
⚠注　意	1. 本品の使用により、人によってはアレルギー反応や、また環境中の有害物質や汗のため、発疹、発赤、かゆみ等の症状が現われることがあります。そのような場合には使用を中止し、皮膚科医等へご相談下さい。（そのまま使用を続けると症状が悪化することがあります。） 特に、アレルギー体質の方は、発疹、発赤、かゆみ等の症状が現れた場合、直ちに使用を中止して下さい。 2. マスク本体や部品が変形する恐れがありますので、高温や高熱の作業場所では、使用しないで下さい。 3. 接顔カバー又はメリヤスカバー（別売）は、マスク着用時に皮膚にしっしんを起こすおそれなどがある場合に限って使用して下さい。また、顔面との密着性が良好であることを確認した上で、使用して下さい。

■用途

本品は、事業場などにおいて発生する粉じんから人体を守るために使用する取替え式防じんマスクです。

■使用の範囲

本品の粒子捕集効率区分はRL2です。
粉じん等の種類及び作業内容に応じた使用区分は下表のとおりですが、**■使用上の注意事項⚠危険**に示す環境では、絶対に使用しないで下さい。

粉じん等の種類及び作業内容に応じた使用区分

粉じん等の種類及び作業内容	RL2の使用区分	
	オイルミスト等が混在しない場合	オイルミスト等が混在する場合
●安衛則第592条の5 廃棄物の焼却施設に係る作業で、ダイオキシン類の粉じんのばく露のおそれのある作業において使用する防じんマスク ●電離則第38条 放射性物質がこぼれたとき等による汚染のおそれがある区域内の作業又は緊急作業において使用する防じんマスク	×	×
●鉛則第58条、特化則第43条及び粉じん則第27条金属のヒューム（溶接ヒュームを含む）を発散する作業において使用する防じんマスク ●鉛則第58条及び特化則第43条 管理濃度が0.1mg/m³以下の物質の粉じんを発散する場所における作業において使用する防じんマスク	○	○
●上記以外の粉じん作業	○	○

※ ○印：使用可　×印：使用不可

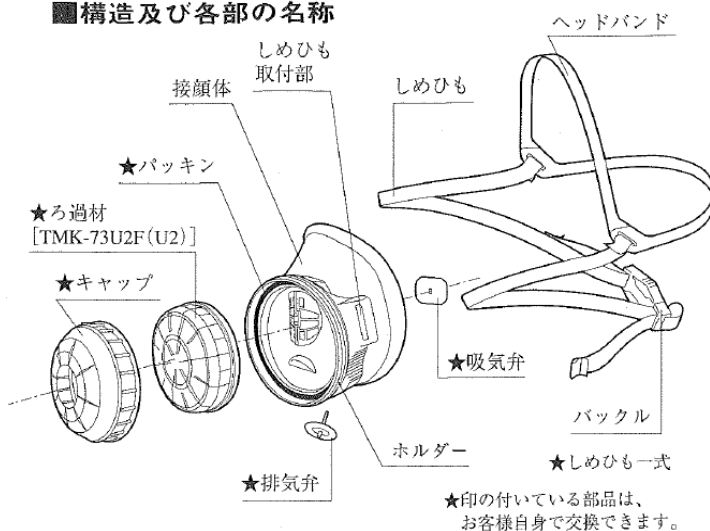
■特長

1. 高性能メカニカルフィルタです。
   捕集効率が高く、しかもオイルミスト等を捕集しても性能低下はほとんどありません。
2. ろ過面積が広いため、吸気抵抗が上がりにくく、長期間使用できます。
3. ろ過材は活性炭素繊維（ACF）入りで、不快臭や溶接時に発生する有害なオゾンを除去します。
4. 接顔体の材質は、塩化ビニル製です。
5. しめひもは、操作が簡単な2点支持１本式です。

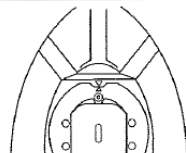
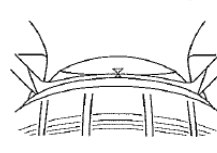
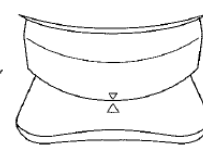
■性能

項　目		社内基準値
DOP粒子捕集効率	〔%〕	95.0 以上
吸気抵抗	〔Pa〕	80 以下
排気抵抗	〔Pa〕	70 以下
排気弁の作動気密	〔秒〕	15 以上
二酸化炭素濃度上昇値	〔%〕	0.7 以下
吸気抵抗上昇値	〔Pa〕	128 （平均値）
重　量	〔g〕	155 以下

■構造及び各部の名称

★印の付いている部品は、お客様自身で交換できます。

■使用前の点検

マスクを装着する前に次の項目を点検して下さい。

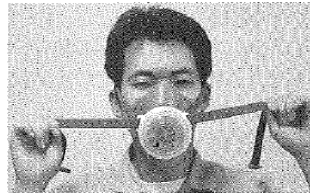
点検箇所	点検内容	異常時の処置
接顔体	破損、亀裂、孔あき、裂け、変形等の異常がないか	廃棄して下さい。
排気弁	弁がついているか	新しい弁を付けて下さい。
	弁がめくれていないか 正しく取り付けてあるか	正しく取り付け直して下さい。
	汚れ、ゴミ等が付着していないか	水等で汚れを落として下さい。
	亀裂、破損、変形、粘着、がないか	新しい弁と交換して下さい。
	正常に作動するか	
	弾力性は十分か	
排気弁座	汚れ、ゴミ等が付着していないか	水等で汚れを落として下さい。
吸気弁	弁がついているか	新しい弁を付けて下さい。
	弁がめくれていないか 正しく取り付けてあるか	正しく取り付け直して下さい。
	汚れ、ゴミ等が付着していないか	水等で汚れを落として下さい。
	亀裂、破損、変形、粘着、がないか	新しい弁と交換して下さい。
	正常に作動するか	
	弾力性は十分か	
しめひも	弾力性は十分か	新しいしめひもと交換して下さい。
ろ過材	正しく取り付けられているか	正しく取り付け直して下さい。
	マスク本体に適合したろ過材が取り付けられているか	適合するろ過材を取り付けて下さい。
	穴、裂け、変形等がないか	新しいろ過材と交換して下さい。
	装着時に息苦しくないか	
	ろ過材から異臭が出ていないか	
パッキン	確実に取り付けられているか	正しく取り付け直して下さい。
	汚れ、ゴミ等が付着していないか	汚れ、ゴミ等を落として下さい。
	亀裂、破損、変形、粘着、がないか	新しいパッキンと交換して下さい。
	弾力性は十分か	
接顔体とホルダーの合印（△マーク）	下図に示す3か所のうち1か所は確実に合っているか。	ホルダーと接顔体をスライドさせるようにして1か所は合わせて下さい。

内側　　外側（上）　　外側（下）

⚠注　意	**未使用でかつ適正な状態であっても、長期間保管されたものは、吸・排気弁等ゴム部品の劣化等が考えられますので、必ず使用前点検を実施して、不良の部品等を交換するか、使用しないで下さい。**

⚠注　意	**異常時の処置を行っても正常に機能しない場合は、マスクを廃棄又は修理を依頼して下さい。**

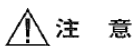
■着脱方法

《付け方》

1. ヘッドバンドを頭頂部に掛けて下さい。

2. しめひものバックルを首の後ろで接続して下さい。

3. しめひもの両端を引っ張りマスクが顔に密着するように、張り具合を調節して下さい。

《外し方》

1. 首の後ろで接続しているバックルを外して下さい。
2. 頭頂部に掛けてあるヘッドバンドを外して下さい。

	1. ろ過材は、乾燥状態で使用して下さい。 **2. しめひもを強くしめすぎないで下さい。フィット感が悪くなったり、長時間の作業では不快になったりしますので注意して下さい。**

■着用時の注意事項

1. 有毒ガスが発生している場所や、酸素濃度18％未満の場所では絶対に使用しないで下さい。また、汚染物質が不明な場所での使用はしないで下さい。
2. ろ過材は、乾燥状態で使用して下さい。
3. タオル等を当てた上からマスクを着用しないで下さい。

■密着性の良否の検査方法

防じんマスク本来の性能を十分に発揮させるには、着用者自身で密着性を調べる必要があります。
次の手順で密着性試験を行い、密着性が良好なことを確認した上で使用して下さい。

《フィットチェッカーを使用する場合》

1. フィットチェッカーR3（別売）を、キャップ中央の吸気口に差し込んで下さい。

2. マスクを作業時と同様に装着して下さい。

3. フィットチェッカーのゴム管を指でつまんでふさいで下さい。

4. 息を吸った時、接顔体と顔面との接顔部分から空気が流入しないことを確認して下さい。
   もし、流入を感じたら、感じなくなるようにマスクの着用状態を直し、再び3を実施して空気がマスク内に流入しないことを確認して下さい。着用状態を直しても空気の流入を感じるようでしたら、パッキン、吸排気弁等が確実についているかを確認して下さい。

《フィットチェッカーを使用しない場合》

手のひらで吸気口をふさいで行って下さい。
この時、マスクを顔に押しつけないように軽く当てて下さい。
強く当てると、マスクを変形させ正しい判定ができなくなることがあります。

⚠ 警　告	**1. 密着性の良否の検査を、使用前には必ず実施して下さい。** **2. 密着性が良好であることを確認できない場合は、使用を中止して下さい。マスクの着用状態を直しても密着性が良好であるか確認できない場合は、安全な場所でマスクの各部分を点検して下さい。** **（「使用前の点検項目」参照）**

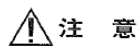
■部品の交換方法

《ろ過材》

ろ過材の交換時には、接顔体を持たず、ホルダー両脇を持つようにして下さい。

1. キャップを回してホルダーから外し、ろ過材を取り出して下さい。
2. 新しいろ過材をホルダーにセットし、接顔体とホルダーの合印が合うようにしっかりとキャップで締めて下さい。

《排気弁》

1. 接顔体排気口部を折り曲げ、排気弁座が見るようにし、排気弁をつまんではずして下さい。
2. 新しい排気弁の中心の軸を、排気弁座の中心の穴に差し込み、しっかりと付けて下さい。
   （正しく付いていることを必ず確認して下さい。弁軸を持ってくるくる回れば正しく付いています。）
3. 接顔体を元のように戻して下さい。

⚠ 注　意	**排気弁を交換する時は、排気弁座を傷付けないようにご注意下さい。** **排気弁座に傷が付くと気密不良の原因となり、マスク本来の性能が著しく低下します。**

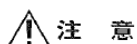
《吸気弁》

1. 吸気弁をつまんで、はずして下さい。
2. 新しい吸気弁の中央の穴を吸気弁座の中央の突起に入れて下さい。
   （正しく付いていることを必ず確認して下さい。）

《しめひも》

1. バックルからしめひもを外して下さい。
2. しめひも取付部から、しめひもをはずして下さい。
3. 新しいしめひもを、ねじれないようにしめひも取付部に取り付けて下さい。
4. しめひもをバックルに入れて下さい。

《パッキン》

1. ピンセット等を使用してパッキンを外して下さい。
2. 新しいパッキンをしっかりとホルダーに取り付けて下さい。
   （消毒用のアルコールをパッキンに塗布すると容易に取り付けられます。）

⚠ 注　意	**パッキンを外す時は、ケガをしないようにご注意下さい。また、パッキンを交換する時は、ホルダーを傷付けないようにご注意下さい。** **ホルダーに傷が付くと気密不良の原因となり、マスク本来の性能が著しく低下します。**

■手入れの方法

《ろ過材》

ろ過材は、よく乾燥させ、適時ろ過材を損なわないような方法で付着している粉じんを払い落として下さい。
なお、ろ過材上に付着している粉じんを圧縮空気で吹き飛ばす手入れ方法は、粒子捕集効率が低下するおそれがあるので好ましくありません。

⚠注　意	ろ過材を手入れして再使用する場合は、次の確認が必要です。 (1) 新品時より捕集効率が低下していないこと。 (2) 吸気抵抗値が上昇していないこと。

⚠警　告	次に示した方法によるろ過材の手入れは、防じんマスクの粒子捕集効率の低下を招くおそれがありますので行わないで下さい。 (1) 付着している粉じんを圧縮空気などで吹き飛ばして除去すること。 (2) 強くたたいたり、たたきつけることにより付着した粉じんを除去すること。

⚠警　告	砒素、クロム等の有害性が高い粉じんに対して使用したろ過材は、手入れをしないで下さい。1回使用ごとに破棄して下さい。

水洗再生による方法

当社では、「水洗可」と表示のあるろ過材については、有償で、水洗再生（含む性能検査）を実施しています。
概要は、下記のとおりです。
詳しくは、当社営業所までお問い合わせ下さい。

1. 水洗再生回数は無制限
   性能が低下したろ過材は、当社負担で新品と交換
2. お預かりする数量
   1回につき100個以上
3. お預かりできるもの
   次の4種類の粒子状物質（粉じん）を捕集したものに限ります。
   ①ヒューム　②土砂　③岩石　④セメント
4. 水洗再生をお断りする場合
   ①カートリッジが破損しているもの
   　レッテルの剥がれ等で検査標章が不鮮明なろ過材も含みます。
   ②ろ過材が破損しているもの
   ③ろ過材に油脂類が付着しているもの
   ④有害性が高い物質が混在している粉じんを捕集したもの
   　ひ素、クロム等（環理濃度0.1mg／㎥以下）の物質の粉じんを発散する場所で使用したもの

《ろ過材以外の部分》

1. 接顔体、吸気弁、排気弁、排気弁座、しめひもなどに付着した粉じんや汗などの汚れは、乾燥した布又は水で軽く湿らせた布で拭いて下さい。
2. 汚れの著しい時には、ろ過材を取り外し、ろ過材以外の部分を中性洗剤によりぬるま湯又は水で洗って下さい。その場合は十分にすすぎをし、陰干しをして下さい。
3. マスクを消毒用アルコールでふいた時は、アルコール分が残らないよう十分陰干しして下さい。

⚠注　意	取り外した部分は、元のとおり正しく取り付け直して下さい。

■保管方法

清潔な冷暗所で、乾燥した状態で保管して下さい。

⚠注　意	積み重ねたり、折り曲げて保管すると、亀裂、変形等の異常の原因になります。

■交換の目安

次の項目に該当する場合は、ろ過材又は部品の交換をして下さい。

《ろ過材》

1. 収縮、破損もしくは著しい変形等が生じたとき。
2. 著しい吸気抵抗の上昇又は、粉じん捕集効率の低下が認められたとき。

《排気弁、吸気弁》

破損、亀裂、著しい変形又は、粘着性が認められたとき。

《しめひも》

老化により弾力を失い、伸縮不良の状態が認められたとき。

《パッキン》

破損、亀裂、著しい変形又は、老化により弾力を失ったとき。

■廃棄方法

産業廃棄物として廃棄して下さい。
ただし、使用後のろ過材は、粉じんが再飛散しないように、ポリ袋等に入れてから捨てて下さい。
なお、著しく有害な物質を含む恐れがある場合は、当社へお問い合わせ下さい。

■オプション部品

●フィットチェッカーR3
密着性の良否の点検を行う場合に使用します。
詳細は、**密着性の良否の検査方法**をご覧下さい。

●スパッタ防止具E、F
溶接スパッタ・水滴などが飛び込むことを防止します。
スパッタ防止具Fは、フィットチェッカー付きです。

●吸水マットS7
呼気中の水分や汗などでマスク内に水分がたまる場合に、使用します。
このマットは、汚れたら水洗いし、再使用できます。

●接顔カバーE、メリヤスカバーNRK
皮膚にしっしんを起こすおそれなどがある場合に使用します。
接顔カバーEは、メリヤスカバーNRKに比べ、漏れ込みが少なくなります。

●マスクグリッパー
マスクをヘルメット（保護帽）に取り付けられ、同時に保護めがねも取り付けられます。

●携行袋
半面マスクを収納したり、携行するのに便利です。

●アルコール除菌スプレー
スプレー式の除菌・防臭用アルコールです。
スプレーした後は数分間放置し、軽く布等で拭きとるだけでOKです。

この取扱説明書は地球環境保護のため再生紙を利用しています。

総発売元 **トラスコ中山株式会社**
〒550-0013　大阪府大阪市西区新町1丁目34番15号
お客様技術相談窓口（テクノセンター）　TEL.0120－509－849　FAX.0120－509－839
E-mail techno.center@trusco.co.jp

製造元 STS 株式会社 **重松製作所**

0806A